

第2回 北上川上流大規模氾濫減災協議会の開催

1. 概要

○北上川上流の減災のための取組を推進するため、「第2回北上川上流大規模氾濫減災協議会」を開催し、特に西日本豪雨災害をうけ大きな課題となっている、「洪水ハザードマップの周知・活用」や「要配慮者利用施設の避難支援」について意見交換を行った。

2. 日時／実施状況

- 日時：平成31年1月29日(火) 13:30～15:00
- 場所：岩手河川国道事務所 2階 大会議室
- 出席者：関係機関 約60名が参加

北上市、一関市、平泉町、岩手町の首長
盛岡市、花巻市、遠野市、八幡平市、奥州市、滝沢市、雫石町、紫波町、
矢巾町、金ヶ崎町の防災担当
盛岡地方气象台、岩手県、国土交通本省水管理・国土保全局 河川環境課
水防企画室、岩手河川国道事務所、北上川ダム統合管理事務所

議事内容

- 1) 要配慮者利用施設の避難確保に関する取組及びハザードマップ総点検の結果について
- 2) 防災・河川環境教育の取組について
- 3) 水位周知河川、洪水浸水想定区域の指定について
- 4) 意見交換
テーマ1：洪水ハザードマップの周知・活用について
テーマ2：要配慮者利用施設の避難支援について
- 5) 情報提供
- 6) 今後のスケジュール

3. 主な意見等

■安全な避難行動のための取組について

～洪水ハザードマップの周知・活用～

- ・自主防災マイスターを各地区に配置するべく養成中、自主防災マイスターが中心となって、自主的な避難、ハザードマップを活用して教育を行うことを推進している。
- ・防災マップ上にQRコードを掲載し、スマートフォンやタブレットで、リアルタイムの河川カメラ画像、水位情報を閲覧しやすくした。市の広報でも特集を組んで、周知を図った。
- ・西日本を中心とした豪雨災害発生を踏まえ、平成30年7月下旬に、全ての自主防災組織を対象として、代表者を集めた研修を開催した。
- ・マップを作成するだけでなく周知・徹底が一番大事である。

■地域防災力を維持・継続・強化するための取組について

～要配慮者施設の避難支援～

- ・避難確保計画の作成を進めるために、昨年開局したコミュニティFMを活用し、必要な人に有事の際に自動で起動するFM受信機の配布しようと考えている。
- ・避難確保計画作成の必要性等を、全施設に個別説明、対応を行っている。原案の内容を精査し、各施設の実態に合った、実効性のある避難確保計画となるよう支援している。
- ・対象施設については指導というより、一緒に寄り添いながらやっていくことが大事ではないかと考える。



<開催状況>



北上市



一関市



平泉町